

# 人材養成に関する目的、教育研究上の目的

## ◆人材養成に関する目的

### ◇一貫制博士課程

総合政策科学研究科技術・革新的経営専攻は、自然科学、現代科学、人文・社会科学の文理融合型教育をとおして、技術とイノベーションのマネジメント及びそのための人と組織のあり方について、広い視野に基づく政策科学的な対処を可能にする能力を涵養する。そして、科学技術を社会の well-being の向上に結び付けていくことを理念として、教育研究者はもとより、企業において技術及びそれに広く関連する戦略の策定と実施に従事する人材及びイノベーションシステムの構築に携わる人材を養成することを目的とする。

## 技術・革新的経営専攻

### ◆ディプロマ・ポリシー

(知識・技能)

「人間のための科学・技術」への転換を迫られる現代社会の諸課題を解決するために、政策や企業戦略を立案・実施・評価し、学術的な観点からその運用・改善に貢献できるようになる。

(思考力・判断力・表現力)

「人間のための科学・技術」への転換を迫られる現代社会の諸課題を解決するために、客観的なエビデンスに基づいた思考、判断、表現ができるようになる。

(主体性・多様性・協働性)

「人間のための科学・技術」への転換を迫られる現代社会の諸課題を主体的に発見し、その適切な解決方を文理の両面から探究できるようになる。

### ◆カリキュラム・ポリシー(2016年度生)

- ・「人間のための科学・技術」への転換を迫られる現代社会の諸課題を解決するために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、および主体性・多様性・協働性を養成するために、基礎科目、展開科目、演習科目によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・基礎科目は、現代社会の基礎的な課題を文理横断的に理解することを目標とし、基礎科目Ⅰ(「社会・人文科学基礎科目群」及び「分析手法科目群」)より各4単位以上(計8単位以上)、基礎科目Ⅱ(「組織・イノベーション論科目群」及び「現代科学科目群」)は「組織・イノベーション論科目群」より6単位以上、「現代科学科目群」より4単位以上計10単位以上を履修する。
- ・展開科目は、現代社会の応用的な課題を見出し探求するために必要な、高度な専門知識と能力の習得を目標とし、「公共政策科目群」、「企業戦略科目群」、及び「環境戦略科目群」より計4単位以上を履修する。
- ・演習科目は、現代社会の諸課題を解決するために必要となる学術的かつ実践的な知識と技能の習得を目標としている。課程前半の2ヶ年では「セオリーアンドプラクティスⅠ～Ⅳ」8単位を履修する。また、課程後半の3ヶ年では「TIM特殊研究」及び「TIM特殊研究S(合同演習)」を履修する。
- ・専攻教員間の密接な連携の下で、指導教員の研究指導により、現代社会の諸課題を解決するために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、および主体性・多様性・協働性の総合的・体系的習得と独創的な学術研究の完成を目標とし、高度に専門的な研究を遂行する。論文は、課題解決能力の集大成として、学術的評価に値する研究として厳格に審査される。

## ◆カリキュラム・ポリシー（2015年度以前生）

- ・「人間のための科学・技術」への転換を迫られる現代社会において人と社会が直面する諸課題の解決に貢献できる人材を養成するために、基礎科目、展開科目、演習科目によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・基礎科目は、基礎的な課題を文理横断的に理解することを目標とし、基礎科目Ⅰ（「社会・人文科学基礎科目群」及び「自然科学基礎科目群」）より各4単位以上（計8単位以上）、基礎科目Ⅱ（「イノベーション論科目群」、「組織論科目群」、「分析手法科目群」、及び「現代科学科目群」）より各4単位以上（計16単位以上）を履修する。
- ・展開科目は、応用的な課題を見出し探求するために必要な、高度な専門知識と能力の習得を目標とし、「公共政策科目群」、「企業戦略科目群」、及び「環境戦略科目群」の1つの群より4単位以上（計6単位以上）を履修する。
- ・演習科目は、課題を学術的に理解し、解決するために必要となる知識と技能の習得を目標としている。課程前半の2ヶ年では「セオリーアンドプラクティスⅠ～Ⅳ」8単位を履修する。また、課程後半の3ヶ年では「TIM 特殊研究」及び「TIM 特殊研究S（合同演習）」を履修する。
- ・専攻教員間の密接な連携の下で、指導教員の研究指導により、「人間のための科学・技術」への転換に関する課題解決の知識・態度・技能の総合的・体系的習得と独創的な学術研究の完成を目標とし、高度に専門的な研究を遂行する。論文は、課題解決の知識・態度・技能の集大成として、学術的評価に値する研究として厳格に審査される。



# 総合政策科学研究科

技術・革新的経営専攻（2016年度生）

## 【課程前半】

登録コード		科目名	単位	担当者	期間	週時間	聴講区分	備考
科目	クラス							
演習科目								
基礎科目Ⅰ（X群・Y群より各4単位を履修すること）								
X群・社会・人文科学基礎科目								
		心理学—組織心理—	2	(本年度休講)				
Y群・分析手法基礎科目								
		社会ネットワーク分析	2	(本年度休講)				
基礎科目Ⅱ								
A群・組織・イノベーション論科目（A群から6単位以上履修すること）								
B群・現代科学科目（B群から4単位以上履修すること）								
		バイオサイエンス	2	(本年度休講)				
展開科目（H・I・J群から計4単位履修すること）								
H群・公共政策科目								
51100368		公共政策Ⅷ —政策研究のメソドロジー—	2	三上 真嗣	春学期	2	不可	
		公共政策Ⅺ —日米関係—	2	(本年度休講)				
51100390		公共政策ⅰ	2	増淵あさ子	秋学期	2	不可	
51100391		公共政策ⅱ	2	伊川 萌黄	秋学期	2	不可	
I群・企業戦略科目								
J群・環境戦略科目								
51106001		中間評価論文						

## 【課程後半】

登録コード		研究指導分野	担当者	期間
科目	クラス			
		TIM 特殊研究Ⅲ	(本年度休講)	
		TIM 特殊研究Ⅲ	(本年度休講)	
51100904	000	TIM 特殊研究Ⅳ	中田 喜文	春学期
51100904	100	TIM 特殊研究Ⅳ	中田 喜文	秋学期
51100906	000	TIM 特殊研究Ⅵ	藤本 哲史	春学期
51100906	100	TIM 特殊研究Ⅵ	藤本 哲史	秋学期
51100931	000	TIM 特殊研究S（合同演習）	藤本 哲史 中田 喜文	春学期
51100931	100	TIM 特殊研究S（合同演習）	藤本 哲史 中田 喜文	秋学期
51106051		論文		

# 総合政策科学研究科

技術・革新的経営専攻（2009～2015年度生）

## 【課程前半】

登録コード		科目名	単位	担当者	期間	週時間	聴講区分	備考
科目	クラス							
演習科目								
基礎科目Ⅰ（X群・Y群より各4単位を履修すること）								
X群・社会・人文科学基礎科目								
		心理学—組織心理—	2	(本年度休講)				
Y群・自然科学基礎科目								
基礎科目Ⅱ								
A群・イノベーション論科目（A群から4単位以上履修すること）								
B群・組織論科目（B群から4単位以上履修すること）								
C群・分析手法科目（C群から4単位以上履修すること）								
		社会ネットワーク分析	2	(本年度休講)				
D群・現代科学科目（D群から4単位以上履修すること）								
		バイオサイエンス	2	(本年度休講)				
展開科目（1つの群から4単位以上、計6単位履修すること）								
H群・公共政策科目								
51100368		公共政策Ⅷ —政策研究のメソドロジー—	2	三上 真嗣	春学期	2	不可	
		公共政策Ⅺ —日米関係—	2	(本年度休講)				
51100390		公共政策 i	2	増淵あさ子	秋学期	2	不可	
51100391		公共政策 ii	2	伊川 萌黄	秋学期	2	不可	
I群・企業戦略科目								
J群・環境戦略科目								
51106001		中間評価論文						

## 【課程後半】

登録コード		研究指導分野	担当者	期間
科目	クラス			
		TIM 特殊研究Ⅲ	(本年度休講)	
		TIM 特殊研究Ⅲ	(本年度休講)	
51100904	000	TIM 特殊研究Ⅳ	中田 喜文	春学期
51100904	100	TIM 特殊研究Ⅳ	中田 喜文	秋学期
51100906	000	TIM 特殊研究Ⅵ	藤本 哲史	春学期
51100906	100	TIM 特殊研究Ⅵ	藤本 哲史	秋学期
51100931	000	TIM 特殊研究 S（合同演習）	藤本 哲史 中田 喜文	春学期
51100931	100	TIM 特殊研究 S（合同演習）	藤本 哲史 中田 喜文	秋学期
51106051		論文		

## 履修方法（技術・革新的経営専攻 2016年度生）

### 1.（課程前半2カ年）

- ①基礎科目ⅠのX群・Y群より各4単位以上（計8単位以上）、基礎科目ⅡのA群より6単位以上、B群より4単位以上（計10単位以上）、そして展開科目のH群・I群・J群より計4単位以上、指導教員のセオリーアンドプラクティスⅠ～Ⅳの8単位を含み、合計30単位以上修得していること。（転入学選考により入学した学生については、原則としてこれら30単位の修得は免除する。）
- ②中間評価論文を提出し、審査および口述試験に合格すること。中間評価論文を提出予定の者は、論文を提出する年度の春学期に必ず「中間評価論文」を登録し、提出する学期の所定の期日までに「論文題目届」提出等の手続をとること（「履修の手引き」参照）。

### （課程後半3カ年）

- ③指導教員のTIM特殊研究及びTIM特殊研究Sを登録すること。
  - ④博士論文を提出予定の者は、論文を提出する年度の春学期に必ず「論文」を科目登録すること。
2. 指導教員の指示により、指導教員が履修を必要と認めた学部設置科目、10単位に限り本研究科以外の科目（関西四大学大学院単位互換科目8単位を含む）の中から選択履修することができる。
  3. 総合政策科学専攻の公共政策コース科目、企業政策コース科目、国際政策コース科目、ヒューマン・セキュリティ研究コース科目、ソーシャル・イノベーション研究コース科目の中から選択履修することができる。
  4. GPA制度に基づく成績評価が適用されるので、科目の登録方法や成績評価については「履修の手引き」を熟読すること。
  5. 修士の学位を授与する特例

本専攻は5年一貫制の博士課程であるが、高度な専門的知識を身につけ、課程前半の2年以上在学し、下記の要件を満たして退学する場合、特例措置として修士（技術・革新的経営）の学位を授与することがある。詳細については「履修の手引き」を熟読すること。

## 履修方法（技術・革新的経営専攻 2009～2015年度生）

### 1.（課程前半2ヵ年）

- ①基礎科目ⅠのX群・Y群より各4単位以上（計8単位以上）、基礎科目ⅡのA群・B群・C群・及びD群より各4単位以上（計16単位以上）、そして展開科目のH群・I群・J群の1つの群より4単位以上計6単位以上、指導教員のセオリーアンドプラクティスⅠ～Ⅳの8単位を含み、合計38単位以上修得していること。（転入学選考により入学した学生については、原則としてこれら38単位の修得は免除する。）
- ②中間評価論文を提出し、審査および口述試験に合格すること。中間評価論文を提出予定の者は、論文を提出する年度の春学期に必ず「中間評価論文」を登録し、提出する学期の所定の期日までに「中間評価論文題目届」提出等の手続をとること（「履修の手引き」参照）。

### （課程後半3ヵ年）

- ③指導教員のTIM特殊研究およびTIM特殊研究Sを登録すること。
  - ④博士論文を提出予定の者は、論文を提出する年度の春学期に必ず「論文」を科目登録すること。
2. 指導教員の指示により、指導教員が履修を必要と認めた学部設置科目、10単位に限り本研究科以外の科目（関西四大学大学院単位互換科目8単位を含む）の中から選択履修することができる。
  3. 総合政策科学専攻の公共政策コース科目、企業政策コース科目、国際政策コース科目、ヒューマン・セキュリティ研究コース科目、ソーシャル・イノベーション研究コース科目および共通展開科目の中から選択履修することができる。
  4. GPA制度に基づく成績評価が適用されるので、科目の登録方法や成績評価については「履修の手引き」を熟読すること。
  5. 修士の学位を授与する特例

本専攻は5年一貫制の博士課程であるが、高度な専門的知識を身につけ、課程前半の2年以上在学し、一定の要件を満たして退学する場合、特例措置として修士（技術・革新的経営）の学位を授与することがある。詳細については「履修の手引き」を熟読すること。